

平成30年9月議会概要

- 期 日 平成30年9月19日(水)
- 質問及び答弁の概要 23-3-1、2

「通学する子どもの荷物が重すぎる問題について」

会 派	質 問	答 弁
<p>公明党 村上 直樹 議員</p>	<p>【議 員】 先日のニュースで、文部科学省は、小学生が背負うランドセルが重いなどの保護者からの意見を受け、近く各都道府県教育委員会などに、学校に荷物の一部を置いて帰るなどの対応を求める通知を出す方針を固めたそうです。通知では例えば、家庭学習に使わない教科書を学校に置いておく、大きな荷物を分散して持ち帰る、教材のアサガオの鉢植えなどは保護者に持って帰ってもらうなどの参考例を示す見通しのようです。具体的な方法は各学校に検討を求め、子どもの体への負担軽減を図るとの事です。あるランドセルメーカーの調査では、1週間のうち最も重い日の荷物の重量は平均約4.7キロで、ランドセルの重さを含むと平均約6キロ。小学生の約3割がランドセルを背負った時に痛みを感じているといます。文部科学省は「学校の状況もそれぞれ違うので、各学校でどういう工夫ができるか参考にしてほしい」としていません。私も小中学校の児童生徒の保護者の方から相談を受けることがあります。そこで、2点お伺いします。 1点目に、近年、荷物が重くなっている原因の一つとして、文部科学省が2011年から実施したゆとり教育の見直しによ (つづく)</p>	<p>【教育長】 近年、道徳の教科化や外国語教育の早期化・教科化など、学習指導要領の改訂により、教材や教科書が増えています。加えて、最近の教科書の大判化などによりまして、以前と比較して、ランドセルや通学バック自体の重量は、重くなる傾向がございます。 このような中、小中学校では、学年ごとの体格差が大きく、ランドセル等の大きさや重さに、負担を感じている児童生徒がいることは認識をしております。通学時の安全面や健康面の心配から、保護者から相談が寄せられる場合もございます。 これまでの対応であります。多くの小中学校では、児童生徒の家庭での学習習慣の定着、次の日の学習準備をする生活習慣づくり、更には、紛失や盗難防止、こういった理由から、原則として、学習用具等は、なるべく家に持ち帰るよう指導してまいりました。 一方、小学校におきましては、以前からの取組みですが、絵の具や習字道具、辞書などは、学級担任が、予め数日に分けて持ってくるように指導し、教室の棚などに置いて帰るような取組み、下校の際に、家庭科や保健の教科書など、毎日使用しない教科書を学級担任が集めて、教室内でまとめて保管する、こういった取組みも行っておりました。 また、中学校では、教科ごとに持って帰るもの、置いて帰るもののり (つづく)</p>

平成30年9月議会概要

- 期 日 平成30年9月19日(水)
- 質問及び答弁の概要 23-3-1、2

「通学する子どもの荷物が重すぎる問題について」

会 派	質 問	答 弁
<p>公明党 村上 直樹 議員</p>	<p>【議 員】 り、教科書の大型化やページ数が増加したことなどが原因であると言われていています。そこで、本市の小中学校の児童生徒の荷物の重量の変化と身体への影響についてどのような認識をお持ちでしょうか、お聞かせください。</p> <p>2点目に、文部科学省は、各学校がそれぞれの状況に応じて対応策を検討すべきという見解を示していますが、本市の小中学校では、今後どのような対応策を検討していく予定なのか、お聞かせください。また、既に対応策を講じている学校があれば、具体的な内容をお聞かせください。</p> <p>(つづく)</p>	<p>【教育長】 ストを作成しまして、年度初めに生徒に示したり、学校で棚やケースなどを購入し、あらかじめ置いて帰っても良い教材・教具を置いて帰る、こういった工夫を各学校で行い、適切な配慮を行ってきたところであります。</p> <p>しかしながら、最近の世論の動向も踏まえまして、本市におきまして、国の今回の通知に先立つ今年の7月に、各学校に対して、宿題以外の学習道具の一部を、学校に置かせるなどの参考事例を改めて紹介し、家庭学習の重要性を踏まえつつも、荷物の重さへの配慮について、各学校で共通理解を図るとともに、適切な指導を行うよう通知をしたところであります。</p> <p>また、この9月に出されました国からの通知では、各学校における実際の工夫例を参考とすることで、児童生徒の携行品の重さや量について改めて検討し、必要に応じ適切な配慮を講ずるよう求めております。本市としましても、国からの通知についても、9月11日付で各学校に対して周知を行っております。</p> <p>児童生徒の登下校時における荷物の負担感につきまして、今後も学校現場、保護者や児童生徒の声を参考に、教育効果や健康面にも留意しながら、適切な対応ができるよう、校長会等とも連携しながら努力してまいります。</p>

平成30年9月議会概要

- 期 日 平成30年9月19日(水)
- 質問及び答弁の概要 23-3-1、2

「通学する子どもの荷物が重すぎる問題について」

会 派	質 問	答 弁
<p>公明党 村上 直樹 議員</p>	<p>【議 員】 【要 望】</p> <p>この問題は、これまでも何度も取り上げられた内容でございますけれども、実は、平成13年に、我が会派の木下議長、現副議長ですけれども、特別委員会でも質問していただいている問題で、我が会派も17年前から問題視していた案件でございます。また、今回、公明党が行った「100万人調査運動」の中でも、保護者の方からの声が多かった案件でもあります。今回、国が9月に提示したのですけれども、先立って7月には本市の教育委員会としては、やっていただいたということで、一歩前に進んだという風に思っております。</p> <p>要望ですけれども、すでに、先週、置き勉がOKになりましたという小学生の子どもさんの意見を聞いたんですよ。多分、ロッカーの問題等いろいろあると思うんですけれども、学校間とか学年であるとかクラス間で、大きな差が出ないようにしておいていただきたいと思います。間違いなく父兄の方から、となりの学校はOKなのに、うちの学校はだめなのよという、何となくそういう相談が来そうな想定がされますので、ぜひ、それはお願いしますので、よろしく申し上げます。</p>	